

コロナ禍の保育園 理事長 大浦 純平



ここ4ヶ月、コロナ感染拡大という未曾有の状況が続いています。現在まで保護者の方の感染例が若干あるものの、園児・職員の感染は免れています。これから先、どのような事態になるのかは全く予想ができません。

最近、匿名のメールで「このような時なのに開園をするとは何か」とお叱りを受けました。しかし、保育はエッセンシャルワークと位置付けられ、「人々が日常生活を送る上で欠かさない仕事」とされており、国及び地方公共団体からは出来る限りの開園を要請されています。休園となるのは「園児」や「職員」の感染があった場合、市町村の判断で休園の決定をした時となります。

とは言え、園内でクラスターが発生しては本末転倒です。そのため、登園前の検温、登園時の消毒、保育中の多くの場面での手洗いやうがい等の徹底を心掛けながら保育を実施しています。保育者たちは頑張っています。

勿論、予定していた行事等についても内容を吟味して必要最小限の開催をしたり、止む無く中止したりしています。子どもたちの成長を確認できる良い機会である行事の変更は保育士にとっても辛いものがありますがこの状況では致し方ありません。

..... 一日も早い収束を心から願うばかりです。

ホームページ(HP)のリニューアル www.hojinkai.ed.jp

今回、輔仁会のHPが新しくなりました。法人広報委員会の手により、3代目のHPは新技術を駆使した見栄えの良いものができたと思っています。今後、情報発信が充実され、入園や就職の際に広く利用され、保護者の皆さんに園生活の情報を発信できれば良いと考えます。

思い起こせば、1997年(平成9年)にHPが流行の兆しを見せ始めたころ、私が技術的な知識もないまま、資料をかき集めて何とか作って公開したのが第一歩でした。続いて、2005年(平成17年)には「輔仁会三園のHP」として情報を発信するようになりました。

そして、今回のリニューアルで最新のテクノロジーを駆使したHPが誕生したのです。より見やすく、快適に利用できるWEBサイトを目指し、デザイン・構成とも一新しました。また、当法人の考え方をより深くご理解いただけるよう、目指す保育について三園のページで「大切にしていること」として掲載しています。

担当の委員会ではその実践を日々のブログに綴り、さらにインスタグラムを使ってより多くの方に見ていただけるよう情報発信に努めると張り切っています。

手探りで始めてから23年、今回のリニューアルは感慨深いものがあります。



新宮つばみ保育園年報

第10号

2020年(令和2年)8月24日 発行

発行/編集

社会福祉法人 輔仁会
新宮つばみ保育園

〒811-0124 糟屋郡新宮町新宮東5-1-18
<http://www.hojinkai.ed.jp/s-tsubomi/>



二〇二〇年二月下旬を境に、当たり前と思っていた日常が一変してしまいました。緊急事態宣言が解除された後に提案された新しい生活様式なるものを見ると、手洗いや消毒は当然ですが、人ととの距離をとる、会話は真正面を避ける、3密を避ける、などまるで人とは親密に関わるな、と言われているようです。親子の間で密接という関係が絶対に必要であるのと同じく、保育園でも子どもとの間の密接な状況は年齢が低いほど必要であり、現場の職員は懸命に

「生活様式」に思うこと

統括次長 大浦まゆみ

人々が集って大きな声を出すことを避けよということ。うたを聴く、歌うことから始まる音楽の楽しさを

保育を行っています。また、私が悲しく思うのは、保育士が思い切りうたを歌えないこと。

子どもたちに伝えたい、美しいハーモニを聴かせてやりたいのに、マスク越しではかきません。せめて子どもたちだけは、並び方を工夫して、変わらぬ歌つてほしいと思います。

この状況の中でも、今までと同様に子どもたちは笑顔を見せ、日々成長を持っています。希望を持って、子どもたちから信頼される保育を続けていきたいと思いま



花のある生活

園長 藤井由理



昨年スリーペアーズのカバのオブジェがもも組園庭拡張工事の時に移動したのは皆さんご存知でしょうか？それと同時にカバのオブジェの足元に花壇を作りました。そして保育園前の歩道並木の下にも通る人たちに目にも入るような花を植えました。こんな風に子どもたちの周りに花がある環境はいいものです。ある日こんな事がありました。保育園に歩いて来る途中見つけた小さな花を握りしめ登園してきた子がいました。そしてその子は小さな花を担任に嬉しそうに差し出してプレゼントしました。大事にしつかり握りしめていたの

でしよう花は少ししおれてくつたつとしていましたが、後でその子のクラスに行く担任保育士は小さな花瓶にその花をいけてお部屋に飾っていたのです。きっとその子は先生を喜ばせたくてお花を摘んだのでしょう。そして保育士はその子の気持ちが嬉しくて花を飾ったのでしょう。花にまつわる小さなエピソードですが、私にとって気持ちが温かくなる出来事でした。

現在新型コロナウイルスの影響で殺菌消毒を促し、感染予防のため保育園内はいつも以上に衛生管理には気を使っています。コロナウイルスのせいで不安な状況

が続く中、子どもたちの目に入る所に花がある事でふっと心がやわらかくなるような気がします。

けて豪華な花でなくても、道の脇に咲いている雑草の地味な花でもきれいだとか可愛いとか誰かにあげたいとか、何か感じたり思ったりする事があります。

コロナ感染予防のために子どもたちに禁止や規制することが多いこの時代だからこそ花のある環境を心掛け、穏やかで優しい気持ちで過ごしてくれる事を願っています。

子どもたちの大切な思い出

2020年度 父母の会 会長 大沼 悟



今年の夏も厳しい暑さが続いておりますが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。先日は、暑い中子供たちが楽しく遊べる様に、プールの設営が行われました。ご協力頂いた皆さま、お忙しい中本当にありがとうございます。

今年はコロナの影響もあり、いつも通りとは言えない状態が続いております。そんな中、青組さんのお泊まり保育も中止になってしまうのではないかと心配しておりましたが、徹底したコロナ感染対策の上で、『夜までワクワク保育園』という形で実施されました。

私の息子も参加させて頂きましたが、とても楽しかった様で、帰り道ではどんなに楽しかったのかをたくさん話して聞かせてくれました。

子供たちに大切な思い出を作ってくれ、先生方にはとても感謝しております。

9月にはボランティア清掃を予定しております。コロナ感染対策を行いながら、いつもお世話になっている保育園に感謝しつつ、子供たちがこれからも綺麗な保育園で楽しく過ごせる様に、皆様にもご協力をお願いしたいと思っております。お忙しいとは思いますが、是非参加頂きます様、お願い致します。

今後のイベントにつきましても、どの様になっていくかわからず、不安な想いもあるかと思いますが、父母の会役員一同、出来る事を精一杯やっしていきたいと思っておりますので、どうぞご協力お願い致します。

今年よりサイズをA3判からA4判に縮小します

ホームページのリニューアルにより各園の発信する情報量も増えましたのでコンパクトにすることに致しました。また、年報は従来通りホームページにアップします。

